

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月14日（火）

2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地（図1）

3 確認項目

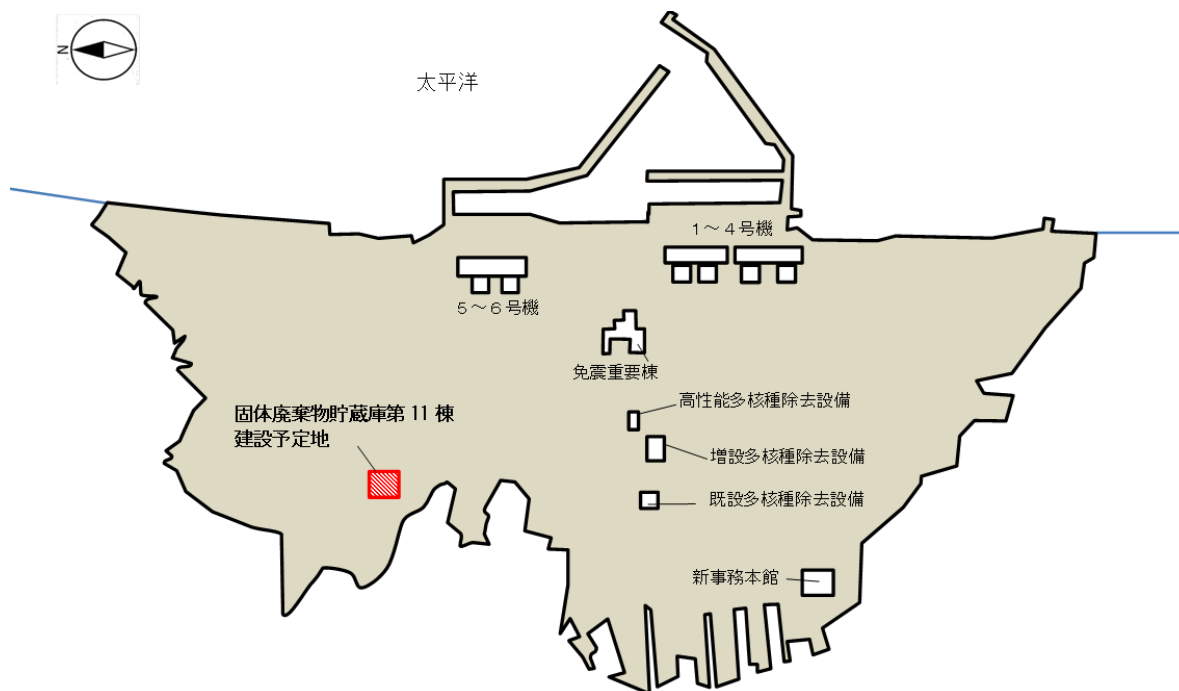
固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を進めている。この取組の一環として、固体廃棄物貯蔵庫第11棟（以下「第11棟」という。）を建設し、廃炉作業で発生する瓦礫類（減容処理設備にて減容処理した瓦礫類を含む）及び焼却設備から排出された発生する焼却灰等の放射性固体廃棄物などを、容器に収納した状態で一時保管する計画としている。

今回は、第11棟に係る建設工事の状況を確認した。（前回確認：令和8年6月24日）

- ・土砂の掘削工及び鋼矢板（基礎部分の土留め）の施工が全エリアで完了し、南東側及び南西側地上では、車両等のスムーズな通行を確保するため鉄板の敷詰めと連結部分の溶接工事が行われていた。（写真1）
- ・第11棟の地下階部分においては、全エリアでコンクリートの打設作業及び壁面部における鉄筋の配筋作業が継続して行われていた。また、搬入口にあたる北側では、運搬車両用のスロープにあたる部分において鉄筋の組立工事が進捗していた。（写真2）
- ・中央エリアにおけるH形鋼の打込み及び構台の架設作業も完了しており、東西を跨ぐルートも確保されていた。併せて、エリア全周に渡り、作業員等の移動用歩廊も整備され、地下階へ移動する際の昇降用アクセスルートもエリアの各所に配置されるなど、作業安全に向けた様々な取組み状況が確認された。（写真3）
- ・作業エリアと通路は単管バリケードにより区分されており、重機と作業員との接触を防止するための措置が講じられていた。また、作業エリアごとに監視員や誘導員が配置されており、安全に作業が進められていた。また、エリア北西部にJV各社の装備用倉庫も設けられ、第11棟建設工事エリア各所を俯瞰できる遠隔監視カメラも備えられていた。（写真4）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1) 南東側のエリアにおける鉄板の敷設作業



(写真 1－2) 北側のエリアにおける鉄板接合部の溶接作業



(写真 2－1) コンクリート打設①
南東端の鋼矢板まで P C 打設済み



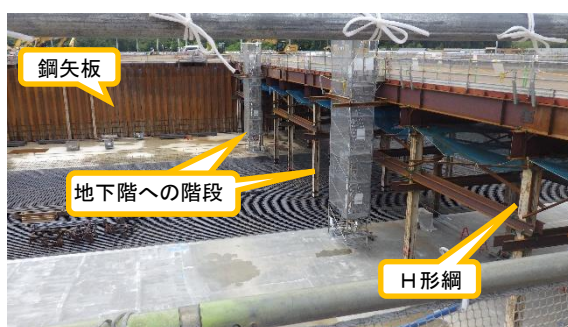
(写真 2－2) コンクリート打設②
北西側 P C 層は多層構造になっている



(写真 2－3) 北側搬入口の状況①
運搬車両スロープ用の鋼材組立



(写真 2－4) 北側搬入口の状況②
鋼材組立は壁面鋼矢板まで進捗



(写真 3－1) 中央エリアの状況
構台設置が完了



(写真 3－2) 歩廊及び地下階への
アクセスルートの確保状況



(写真 4－1) J V 各社の備品倉庫



(写真 4－2) エリア内遠隔監視用
カメラ用設置状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。